

レインボータウンFM88

伊藤広規 「旅と人と音楽と」

(第 88回 2019.7.3 OA)

【第88回オープニング】

みなさんこんばんは。ベーシストの伊藤広規です。

レインボータウンFM、伊藤広規「旅と人と音楽と」

今夜は第88回目！それでは行ってみましょう！

【説明1】

この番組は、周波数88.5メガヘルツ「レインボータウンFM」から江東区をキーステーションにその周辺のエリアにお届けしています。

サイマルラジオ、リスラジなどのインターネットラジオなら、日本のみならず世界中でお聞きいただけます。

【トーク】

梅雨も大詰め。先週に引き続きジェームステーラー 特集！

【1 曲目】

James Talar 1997年 Hourglass(アワーグラス)から「Enough To Be On Your Way」

【曲途中】

牧歌的で切なくて、それでもって夢がある。ジェームステーラーの音楽には、何かを思い出させる不思議な魅力があります。

こんな梅雨の時期に聞くと、自然の中でみたホタルを思い出します。

ずいぶん前から東京近郊でもホタルが見られるところがあるんですね。私が見つけたところは、津久井湖のそばの田んぼの中。小雨の夜になると、毎年行っています。小川の草の合間でポッと光る。10匹も見つけると 嬉しくて嬉しくて。フワフワと風に任せて飛んで、手の上に止まったりするんですね。「ホタミ」と名付けて、小さな声で呼んでみては、闇夜を楽しむんです。

【1 曲目が終わり2 曲目】

JT/1991年 new moon shine から「The Frozen Man」

【曲途中】

JT のアコースティックギターは、自然の中の美しさを見ているような響きですね。

ホタルを始めてみたのは、小学生だった頃。親父の里の郡山に遊びに行った兄貴と弟が虫かごにホタルを入れて帰ってきたんです。ポーッと光るホタルに家族みんなほっこりしたんですね。15年ほど前の5月に初めて西表島に行った時に、八重山ホタルの群生地に行ったんです。まるでクリスマスツリーのリースのように森全体に無数の光。目が慣れてくると一匹一匹が見えてくる。ホタミにホタ子、ホタ太郎、にホタ次郎、名前が付けきれない。

民宿に戻るバスの中まで乗ってきて、ずっと夢を見ているようでした。それ以来 西表島が大好きになって何度も行くようになりました。

【2 曲目終わって3 曲目】

JT/1991年 new moon shine から「The Water Is Wide」

【曲途中】

この曲、カーラボノフ 特集の時も取り上げたスコットランド民謡です。素朴でなぜか懐かしく思える。JTは一つ一つの曲がより生えるようにカバー曲の選び方のセンスもずば抜けてますね。ホタルを都会で見ても、光は小さくて見えない。闇の中だから光りは美しい。

何年前か、南阿蘇の外輪山の夕日を見てたんです。空がグレーになって、山の影が黒くくっきりと見える頃。そばにある池の草の中から、ポーッと光りながら飛んでるホタル。梅雨の時期しか会えないホタルとの出会い。梅雨は、そんな風に考えると、いい季節です。

【エンディング 短い】

さて、今週の伊藤広規 旅と人と音楽と。みなさんいかがでしたでしょうか？

この番組への感想や私へのメッセージなど、伊藤広規『旅と人と音楽と』公式サイトからいただけるととっても嬉しいです。

URLはKokiradionet(コーキレディオドットネット)、アルファベットでケーオーケーアイ アールエーディーアイオー
ドットネットです。

メッセージをくださった方の中から毎月1名さまに、プレゼント。

新作広規ストールと広規ラジオ 特製グッズをプレゼントします。

6月の当選者はラジオネーム

「絶望さん」です。

おめでとうございます!

今月もドシドシメッセージお送りください。

では、来週も水曜日

この時間に!

《間》

伊藤広規でした。